

## 解説 1)

### ○水環境におけるリスクアセスメントの方法

(Nordic Council of Ministers, 1996)

---

#### ①PNEC (Predicted No-Effect Concentration)を計算する。

最も感度の良い急性  $LC_{50}$  あるいは  $EC_{50}$  を用い、これを1000 で割った値。

この過程で、この値はさらなるテストによって改められたり、作用係数がより低い亜急性データを利用したりする。

#### ② PEC(Predicted Environmental Concentration for Site Limited Intermediates)を計算する。

USES EU のデータベース)の数値を用いたり、実際のサイト、特に限定されたサイトの中間値 (SLI)を使ったりする。

#### ③以上の二つの値から比を計算する。

$PEC/PNEC < 1$ 、あるいは  $= 1$  の場合は緊急の対応を必要としない。

$PEC/PNEC > 1$  の場合は関心を向ける必要があり、対応は以下の3つのどれかにあたる。

- ・さらなる情報が必要である
- ・さらなる情報が緊急に必要である
- ・リスク削減のための緊急な勧告が必要である

---

大竹千代子 博士論文 2002 より

### ○Conclusions (i)、(ii)、(iii) の説明

**結論(i)** 更なる情報/試験が必要である。

**結論(ii)** 更なる情報/試験は現在のところ必要はないし、すでに取りられている以外のリスク削減対策も必要ない。

**結論(iii)** リスクを制限する必要がある、現在とられているリスク削減対策は重視されるべきである。

ECBニュースレターに毎号掲載されている説明の2002年12月19日号による)

(ECB: European Chemical Bureau) <http://ecb.jrc.it/>